

50歳以上の方へ

たいじょうほうしん

带状疱疹予防接種のご案内

当院では生ワクチンと不活化ワクチンの2種類をご用意しています。予防接種の適応があるかどうか、どちらのワクチンが適しているかは人によって異なります。詳しくは、担当医または八千代総合健診センター受付にお尋ねください。

2種類のワクチンの比較表

いずれも
安城市
助成対象

	名称:ビケン 〈生ワクチン〉	名称:シングリックス 〈不活化ワクチン〉
接種方法	皮下注射	筋肉注射
接種回数	1回	2回(接種間隔2か月~6か月以内)
費用	7,700円	44,000円(22,000円/回)
安城市助成額	3,000円	1回 7,000円×2回
発症予防効果	約69% (合併症予防) 带状疱疹後神経痛軽減 約66%	約90% (合併症予防) 带状疱疹後神経痛軽減 約80%
利点	・費用が安い	・予防効果がより長く高い ・18歳から49歳までの方も接種が可能
欠点	・不活化ワクチンに比べ効果が劣る	・2回接種が必要 ・費用が高い

安城市の助成を受けるには事前申請が必要です。
助成制度の詳細は市のウェブサイトをご確認ください。

安城市ホームページ▶



接種予約
お問い合わせ

社会医療法人 財団新和会

八千代病院 八千代総合健診センター

受付時間 …… 月~金曜日(祝日を除く)13:00~16:30

電話番号 …………… 健診センター直通 0566-98-3367

〒446-8510 安城市住吉町2-2-7 Fax.0566-98-2834 (直通) ホームページ www.yachiyo-hosp.or.jp

带状疱疹ってどんな病気？

带状疱疹は50歳以上で増加し、80歳までに日本人の3人に1人がかかる身近な病気です。



体の左右どちらかの神経に沿って、水ぶくれを伴う赤い湿疹が带状に現れます。強い痛みを伴うことが多く、症状は3～4週間ほど続きます。

顔や頭部にできた場合、顔面神経痛や失明、難聴など重い合併症を引き起こすことも!

■带状疱疹はなぜ起こる？

带状疱疹を引き起こすウイルスは、水ぼうそうと同じウイルス(水痘・带状疱疹ウイルス)です。このウイルスに初めて感染すると「水ぼうそう」になり、治った後もウイルスは体内の神経節に潜伏し続けます。

ウイルスは普段は体の免疫力によって活動を抑えられていますが、免疫力が低下すると再び活動を始めて増殖し、带状疱疹を引き起こします。

■高齢者は要注意! 重い合併症を起こすことも

带状疱疹は過労やストレスによる免疫力低下が引き金となり、若い人が発症することも珍しくありません。しかし50歳以上になると発症率が高くなり、80歳までに3人に1人が带状疱疹になると言われています。高齢者が発症した場合は湿疹や痛みの程度が強く、重症化しやすくなります。また「带状疱疹後神経痛(PHN)」といって発症後3～6か月以上、神経痛が持続することもあり、注意が必要です。

■带状疱疹は“ワクチン”により予防できる病気です

近年、带状疱疹が増加傾向にあることから、带状疱疹の発症や重症化予防に効果的とされる「带状疱疹ワクチン」の接種が50歳以上の方に推奨されています。



日本人の成人のおよそ9割が、体内に水痘・带状疱疹ウイルスをもちていると考えられています。予防には日頃からの体調管理を心がけ、免疫力を低下させないことも大切です。